「第２期沼津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」 基本目標の進捗（令和５年度）

資料 2-1

評価基準	A	B	C	D	E
	達成	7割達成	基準以上	基準未満	不明

基本目標1　力強い産業を育て魅力ある雇用を創出する

【考え方】
厳しい状況にある第一次産業の活性化に向けて、地産地消の推進を図るとともに、新たな特産品の開発やブランド化などに地域の総合力で取り組む。
個店の魅力発信の強化やリノベーションの取組のエリア展開により、まちの魅力や集客力の向上を図る。
企業誘致・定着の促進や、スマート農業の推進、起業創業の支援などにより、新たな産業や雇用を創出するとともに、若年者の地元企業への就労支援や誰もが働きやすい環境づくりに取り組み、地域産業を担う人材の確保を図る。

数値目標	基準値(H28)	R1年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
事業所数(事業所)	10,178	11,650	9,599	―	―			10,000	D
【測定方法】経済センサスによる。		（参考）基礎調査							

数値目標	基準値(H28)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
従業者数(人)	101,160	―	100,460	―	―			11万	D
【測定方法】経済センサスによる。									

基本目標2　沼津への新しいひとの流れをつくる

【考え方】
都市機能が集積する中心市街地では、ヒト中心の魅力あるまちを実現するため、沼津駅周辺総合整備事業や総合体育館整備等の基盤整備により都市的魅力の向上を図りつつ、まちなかのにぎわいを創出し、生活利便性の高いまちなかへの居住を促進する。
スポーツツーリズムの推進や歴史・文化資源の保存・活用など、ぬまづの宝である地域資源を最大限活かした取組を推進するとともに、ワーケーションなど新たな観光スタイルに合わせた取組、アフターコロナを見据えた外国人観光客への受入環境の整備などを進め、交流人口の拡大を図る。
市民一人ひとりが、沼津に誇りを抱き、市民自らが発信するインナープロモーションの促進を図るとともに、沼津のファンを増やす関係人口の創出・拡大に取り組み、地域の活性化や将来的な移住・定住につなげる。

数値目標	基準値(R1)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
転入超過数(人)	535	−178	−512	173	68			転入超過維持	A
【測定方法】市民課の数値による。									

数値目標	基準値(R1)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
観光交流客数(人)	436.3万	201.9万	243.0万	327.5万人	366.2万人			600万	D
【測定方法】観光戦略課の調査結果による。									

基本目標3　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【考え方】
若い世代が安心して子どもを産み育てることができるよう、経済的な負担を軽減する施策の拡充や、出会い・結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の更なる充実を図るとともに、特色ある沼津らしい教育に地域総がかりで取り組み、若い世代が希望する子育て環境づくりを進める。
女性活躍の推進や柔軟な働き方の普及など、家族や地域、企業と連携した仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の確保に努めるとともに、スポーツなどを通じた健康づくり活動を促進し、誰もが心身ともに元気で健康に生活できる社会の実現を図る。

数値目標	基準値(R1)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
出生数(人)	1,082	1,058	964	945	881			1,200	D
【測定方法】市民課の数値による。									

数値目標	基準値(R1)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
子育て世帯数(世帯)	16,423	16,011	15,646	15,265	14,857			18,000	D
【測定方法】18歳以下の子どもがいる世帯数で、市民課の数値による。基準値は令和2年4月1日時点									

基本目標4　新しい時代に合った、安全・安心で誰もが暮らしやすい地域をつくる

【考え方】
地震・津波対策や、気候変動の影響を踏まえた常襲浸水地域の浸水被害対策、観光拠点における来訪者の安全確保など、激甚化する自然災害への対策を総合的に推進する。また、大規模災害発生時には、地域住民による防災活動が重要となることから、自主防災組織の充実・強化や地域別の災害避難行動計画の策定などに取り組む。
公共交通ネットワークの形成など、生活利便性の向上を図るとともに、地域住民の自主的な活動の支援、高齢者の生きがいづくり、多文化共生の推進に取り組み、市民がいつまでも安心して、それぞれの地域で共に支え合い、快適に暮らせるまちづくりを進める。
市民や事業者とSDGsの理念を共有して地域課題の解決に取り組むとともに、ICT等の最先端技術の導入を産学官連携のもと推進し、都市の魅力の向上を図る。

数値目標	基準値(R1)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(R7)	評価
沼津に愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思う市民の割合(%)	79.1	81.7	77.8	77.6	79.4			85	C
【測定方法】政策企画課の調査結果による。									

沼津市の人口の推移

（資料：市民課　住民基本台帳）

全体（外国人を含む）					日本人のみ				【参考】日本の人口の推移 4月確定値（R6のみ概算値）		
時点	人口（人）	前年差（人）	減少率（%）	世帯数	人口（人）	前年差（人）	減少率（%）	世帯数	人口（千人）	前年差（千人）	減少率（%）
H31.4.1	195,039	−1,491	−0.76	91,624	190,812	−1,782	−0.93	89,350	126,253	−272	−0.22
R2.4.1	194,207	−832	−0.43	92,467	189,680	−1,132	−0.59	89,984	125,929	−324	−0.26
R3.4.1	192,644	−1,563	−0.81	92,835	188,196	−1,484	−0.79	90,408	125,854	−75	−0.06
R4.4.1	190,417	−2,227	−1.17	92,851	186,210	−1,986	−1.07	90,711	125,071	−783	−0.63
R5.4.1	188,613	−1,804	−0.96	93,387	183,858	−2,352	−1.28	90,680	124,554	−517	−0.42
R6.4.1	186,676	−1,937	−1.04	93,608	181,657	−2,201	−1.21	90,689	124,000	−554	−0.45
R7.4.1											